

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信

NO. 37

2005 年 8 月

事務局：医療法人高木神経科デイケアおいけ内
〒604-0845 京都市中京区烏丸御池上ル都ビル 2 階
TEL 075(222)0452 FAX 075(222)1052
e-mail kyo-psw@mbox.kyoto-inet.or.jp

9月例会のご案内

日 時 2005 年 9 月 3 日（土）14:00～17:00
会 場 京都府職員福利厚生センター 3 階
Tel 075 - 414-4166（上京区下立売通新町西入）
テーマ 「新人研修 ～ 語ろう！戸惑い、不安、悩み・・・」
アドバイザー 上田 正人 氏（岩倉病院デイケアセンター）
佐藤 純 氏（京都府乙訓保健所）
吉田 久美子氏（精神障害者小規模通所授産施設ジョイント・ほっと）

精神保健福祉士、PSWとして現場で仕事をしていて、誰もが悩んだり、戸惑ったり…
の日々を送っています。特に、新人の頃はそういったことの連続です。

今回の例会では、前半に日頃の戸惑いや不安・悩み・ストレスなどを、小グループに
分かれて自由に話し合い、後半にグループで話し合われた内容を報告し、先輩ワーカー
からアドバイスをしていただきます。新人の方だけでなく、中堅・ベテランの皆様も気
楽にご参加ください。

臨時総会のご案内

日 時 2005 年 9 月 3 日（土）18:00～20:00
会 場 京都市子育て支援総合センター「こどもみらい館」
Tel 075-254-5001 ＊ 全館禁煙
（地下鉄丸太町駅下車・烏丸竹屋町を東に 3 筋目、公園の南）
議 題 会員の倫理抵触行為に対する役員会の見解報告
A. 役員会での対応の経過
B. 行為についての当協会の判断
C. 組織としての社会的責任について
D. 再び繰り返さないための取り組み

ご案内は 7 月にお送りしています。ご欠席の方は、委任状（ご案内に同封）を、
8 月 29 日（月）までに FAX にて事務局までお送りください。

2005 年度総会および記念講演会報告

日 時 2005 年 6 月 4 日 (土)
会 場 京都市職員厚生会職員会館「かもがわ」

記念講演 13:30～15:30

演 題 「 変革の時代における精神保健福祉士～アイデンティティの明確化に向けて～ 」

講 師 柏木 昭 氏 (聖学院大学総合研究所・日本精神保健福祉士協会名誉会長)

※ 本記念講演は、当日午前に設立された(社)日本精神保健福祉士協会京都府支部との共催で行われた。88 名の出席があった。講演内容については、別刷のとおり、柏木先生より講演要旨を頂いた。

総 会 15:45～16:45

出席会員数 出席 54 名 委任状 91 名 計 145 名

会長あいさつ (通信 36 号で報告のとおり)

議 事 (第 3 号議案以外は、議案書を参照してください)

議長に上村啓子氏(京都市朱雀工房)が選出され、出席会員数が規約第 11 号 4 に定める定足数(総会員数 218 名 過半数で成立)に達しており、総会の成立を宣言した。

次いで、以下のとおり、各議案が提案審議され、採決の結果、原案どおり可決された。

第 1 号議案(2004 年度事業報告) 西村事務局長より提案。

第 2 号議案(2004 年度会計報告および会計監査報告) 物会計より提案。

監査報告は、監査が欠席のため、吉村副会長が、「2005 年 4 月 9 日、会計監査をおこなった。通帳等照合し、相違ないことを確認」と代読報告した。

(質疑) なし

(採決) 第 1・2 号議案(一括)を拍手多数で承認。

第 3 号議案(倫理綱領に関する件) 杉原副会長より、別紙のとおり提案。

(質疑)

質問:(上田氏) 役員会での取り扱い、除名処分について、説明してほしい。

回答:(杉原副会長) 今回、精神保健福祉士でもある本協会員が犯した職業倫理に反する行為について、協会としての社会的責務をどう果たすべきかを検討するために、役員会の決定に基づき特別委員会を設けた。これは、当該会員の行為は勤務時間外の私的会食の中で生じたことであるものの、その参加者との関係は、当該会員がその職務上成し得たものであることにおいて重大な誤りがあると考えざるを得ないと判断したからである。しかしながら、協会としての責任の取り方についてはまだ結論を得るに至っていない。

質問:(上田氏) 議案書に特別委員会設置が書いていない、書くべきではないか。

回答:(中瀬会長) ご指摘のとおりである。特別委員会については改めて 4 号議案で説明させていただく。

質問:(上田氏) 3 号議案は今後の協会のあり方についてのことである。今回のこの会員に対する処分についての検討はされているのか? またその結論が出るのはいつ頃になるのか?

回答:(杉原副会長) 役員も事実を知り、協議をしてきた。特別委員会も設置して議論しているところである。その中で組織としての課題も浮かび上がってきた。しかし、今日の総会の場で役員会としてどのような対応をするのかについての判断を示すには至らなかった。今後できるかぎり早い時期に一定の方向を打ち出したいと考えている。

(採決) 議長より

第 3 号議案について、今回の問題を受けての役員会の見解として一定の方向性を早急に示すことを加えた上で、挙手による採決をおこない、賛成多数で承認。

第4号議案（規約改正について） 杉原副会長より、提案。

（質疑）

質問：（吉田氏）第3号議案に戻るようになるが、私自身が分かりかねる。3、4号とも倫理綱領取り入れは賛成。だが、倫理綱領は倫理綱領として、事件があってもなくても大切なものであり、取り入れていくべきもの。事件と、倫理綱領とは別に扱うべき。特別委員会設置も聞いていなかったし、事件については別立てでまとめが必要。倫理綱領との結びつきが賛成できない。事件についてAさん個人のことでなく、役員会での対応や、除名処分について、説明してほしい。

回答：（杉原副会長）（日本協会の）倫理綱領については、一昨年の仙台大会で出された。これまでも京都協会でも取り入れるべきとの議論がなかったわけではないが、その時は具体的にはならなかった。今回の事件に絡めてはじめて出てきたわけではないことを理解してほしい。また、今回の件に対する役員会の対応については、特別委員会を作り、面会やメールを通して本人の意向や心情を確認してきている。様々な面で重い問題でもあり、特別委員会ではまだ結論に至ることができない。早急に委員会を開いて結論を出し、皆さんにお伝えすべきだと思っている。

質問：（上田氏）何が問題で判断できないのか？

回答：（杉原副会長）規約には除名という項目があるが、会として社会的制裁はきちんとした手続きが必要である。その手続きが明確になっていない。手続きの方法についても結論に至っていない。また、事実の確認についても問題がある。本人の言い分は聴くことができるが、もう一方の当事者については情報収集が困難な状況である。

（採決）議長より、再度「役員会として一定の方向性を示す」ことを確認された上、第4号議案を拍手多数で承認。

第5号議案（2005年度役員体制について） 中瀬会長より提案。

2005年度組織体制参照（総会時に配布したものに委員名を記載したものを同封しています）

（採決）第5号議案を拍手多数で承認。

第6号議案（2005年度事業計画（案）） 西村事務局長より提案。

今年度より組織体制を充実させ、より多くの会員に運営参加してもらう体制を考えているので協力してほしい。

第7号議案（2005年度予算（案）） 宮崎会計より提案。

（質疑）

意見：（上田氏）2004年度はいろいろなことで、役員の方では苦しまれたと思うが、今回の事件についても聞いていて、会員として分かち合うべきことを分かち合っていないのではないかと。今年度の組織運営に対しての要望として、役員会での議論や起こっている事柄などについて通信に記載してほしい。

（採決）第6・7号議案（一括）を拍手多数で承認。

役員会報告

総会での質疑から、役員会でどのような事項が検討されているのか、役員および役員会の動きがもっと会員の皆さまに見えるようにしなければ、との反省が生まれました。そこで本号より役員会報告というコーナーを設けて、役員および役員会の動きをお伝えしていくことになりました。とりあえずは、役員会で取り上げた議題と決定された事項を中心に報告していきたいと考えています。

【第4回役員会】

日 時 2005年7月2日(土) 13:30～17:30 場 所 事務局

出席者 12名(3名欠席) 議 長 月川 書 記 下村

議 事

- 1) 入会承認 3名 退会承認 2名
- 2) 京都都精神保健福祉協会との共催事業である、講演会『障害者自立支援法の活用について』の概要説明が行われ、当日の運営などについても確認した。
- 3) 日本精神保健福祉士協会全国統一模擬試験について
全国統一模擬試験を京都単独で開催するか、大阪と共同開催にするかを検討する。
(後者に傾くが、後日大阪より京都会場も強く要望され、その方向に)
- 4) 総会の振り返り
アンケート回収率の低さ、懇親会の準備の遅れなど、今後の課題について確認しあった。
- 5) 特別委員会から、報告及び臨時総会の開催について
倫理抵触行為について、総会での質疑を受けて、特別委員会から詳細なまとめが提出され、さらに検討した。臨時総会を開催し、会員へきちんと報告することとなった。
- 6) 役員会の開催について
今年度からスタートさせた「部」体制と役員会との関係を整理した。従来、不定期開催だった役員会を定例化させることに(→ 7/23 10/15 1/21 3/18 を予定)する。
各部からの今年度活動計画が報告される。
- 7) 例会について
研究研修部から、本年度の例会開催について、9月から3月まで毎月開催する旨が提案された。また、例会テーマについて検討した。

【第5回役員会】

日 時 2005年7月23日(土) 13:30～17:30 場 所 事務局

出席者 9名(欠席者6名) 議 長 西村 書 記 山田智子・斉藤

議 事

- 1) 入会審査 2名承認
退会について、口頭ではお聞きしているが退会届の提出がまだという退会予定者が数名おられる。早急に送っていただくようにする。
- 2) 精神保健講演会(7月9日)について
参加者数と収支の報告。事前打ち合わせの必要性や運営についての反省点が出された。
- 3) 第6回精神保健福祉士全国統一模擬試験について
日本協会からの委託事業として、京都単独で開催することとなった。
開催日は11月3日(水)祝日、会場は龍谷大学短期大学部(深草)を利用させていただけることとなった。今後、タイムスケジュールに応じて準備をしていく。
- 4) 例会について
各月のテーマについて検討する。各専門委員会は、今年度の方針を決め、例会を担当するかどうかについて早急に話し合うことが確認された。
- 5) 臨時総会について
配布資料の内容と当日の運営について検討した。また今回の件について、「報告書」として冊子にまとめることについての提案があった。

掲示板

◆ 京都 DARC 2nd フォーラム 気楽にやろう ー薬物依存からの回復

日 時 2005年8月27日(土) 13:30～17:00

会 場 ひと・まち交流館 京都

* 詳細は同封のチラシをご覧ください。

- ◆ 京都市洛西ふれあいの里保養研修センター主催 研修会のお知らせ
- ◇ 社会福祉施設・団体 管理的職員研修会「施設経営におけるマネージメント」
 - 日 時 2005 年 8 月 30 日（火）18：30～21：15
 - 会 場 ひと・まち交流館 京都 受講料 3000 円
- ◇ 社会福祉施設・団体 指導的職員研修会「職場の問題解決とリーダーシップ」
 - 日 時 2005 年 8 月 31 日（火）9：30～17：00
 - 会 場 京都市洛西ふれあいの里保養研修センター 受講料 3000 円
- ◇ 社会福祉援助講座（入門編）第 2 回
 - 日時・内容 2005 年 9 月 21 日（水）9：30～16：30「社会福祉援助の基本と新任職員の心構え」
 - 10 月 3 日（月）9：30～16：30「対人援助の基本姿勢」
 - 会 場 ハートピア京都 受講料 6000 円（2 講座分の料金）
- ＊ 上記 3 件についての詳細をお知りになりたい方は、事務局までご連絡ください。
研修要項を FAX します。

- ◆ ウィメンズカウンセリング京都 10 周年記念講演会
「象徴としての女性像 ～絵画における性暴力イメージ～」
 - 日 時 2005 年 9 月 11 日（日） 13：30～16：00 （13：00 開場）
 - 会 場 ウィングス京都 イベントホール
 - 講 師 若桑みどり氏（川村学園女子大学人間文化学部生活文化学科教授）
 - 入場料 1500 円 （保育料別途 500 円、1 歳～就学前先着 15 名。受付 2 週間前まで）
 - 主催・問合せ ウィメンズカウンセリング京都 共 催 （財）京都市女性協会
 - Tel:075-222-2133 Fax:075-222-1822 E-mail:w-c-k@mbox.kyoto-inet.or.jp

- ◆ 第 6 回精神保健福祉士全国統一模擬試験のお知らせ
今年に関西地区では 3 会場で予定されています。詳細は 8 月以降、日本精神保健福祉士協会 HP に掲載されますのでご確認ください。
なお、今年度の京都会場試験は日本協会の委託を受けて当協会が行います。広報・運営面でのご協力よろしくお願いします。
- 11 月 3 日（木）開催 京都会場 龍谷大学短期大学（地下鉄くいな橋駅・京阪深草駅下車）
大阪会場 大阪府社会福祉会館（地下鉄谷町 6 丁目駅下車）
- 11 月 5 日（土）開催 兵庫会場 神戸医療福祉専門学校中央校（JR 神戸駅・高速神戸駅下車）

- ◆ 社団法人日本精神保健福祉士協会 第 7 回基礎研修
 - 日 時 2005 年 11 月 18 日（金）～20 日（日）
 - 会 場 北星学園大学 （北海道札幌市）
 - 対 象 日本協会入会者（非会員は入会を条件に受講可能）・国家資格取得後 2 年～5 年目
 - 事前課題 参加者は、事前にレポート提出があります。 申込締切 10 月 14 日（金）必着
 - ＊ 詳細をお知りになりたい方は、事務局までご連絡ください。研修要項を FAX します。

- ◆ 第 3 回アビリンピック（障害者技能競技大会）京都大会のお知らせ
身体、知的の 2 障害を対象に実施されていましたがアビリンピックが 2006 年度全国大会から精神も加わり、3 障害で実施されることになりました。京都では、全国に先駆けて今年度から 3 障害対象となります。大会の詳細が決まりましたらご案内いたします。
- ※ アビリンピック(ABILYMPIC)とは、アビリティ (ABILITY:能力) とオリンピック (OLYMPICS) をあわせた造語で、全国障害者競技大会の愛称です。 障害のある方々が日頃職場などで培った技能を競うことにより、社会に参加する自信と誇りを持つことができるよう、その職業能力の向上を図るとともに、広く障害者に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的とし、1972 年に第 1 回大会が千葉県で開催され、2004 年の宮城大会で 27 回を数えています。（独立行政法人高齢・障害者

雇用支援機構アビリンピックとは？ <http://www.jeed.or.jp> から）
開催日時 2006年2月4日（土） 9：30～16：00
会場 京都府立京都高等技術専門学校（伏見区竹田流池町 121-3）
主催 社団法人京都府障害者雇用促進協会・京都府

リレー職場紹介

リレー形式で、会員の職場を紹介するコーナーです。日頃の思いや、精神保健福祉士がどのような役割を担い、何を大切にしながら働いているのか等を表現していただきます。担当された方には、次回への指名権があります。次号より再開します。

事務局から

● 入会者

加藤 武士 さん（京都 DARC）
土橋 未三 さん（小規模授産施設オリーブホットハウス）
山田 晴美 さん（京都市上京保健所）
大里 祥 さん（京阪病院 医療相談室）
花房 諒 さん（精神障害者小規模通所授産ジョイント・ほっと）
丸木 泰史 さん（精神障害者地域生活支援センター らしく）

● 退会者

加納 誠 さん（京都府保健福祉部）
浜田 友裕 さん（瀬尾医院）
吉村 いさ子 さん（ふれあいサロンみなみ）

● 会員数 7月23日現在 236名

● 会員名簿について

2005年度会員名簿をお送りします。ご確認いただき、誤りがありましたら、メールもしくは FAX にて事務局までご連絡ください。また、変更が生じた場合は必ず事務局に変更届をご提出くださるようお願いいたします。また、名簿の形態（レイアウト・掲載項目・掲載順ほか）について、ご意見、ご希望などをお寄せください。より使いやすい名簿に向けて検討中です。

● 会費納入のお願い

今年度会費の納入がまだの方は早急にお納めください。また、昨年度の会費が未納の方は至急お納めください。2年間会費を滞納されますと、退会となります。

● メール配信利用のお願い

メールを利用されている方は、「きょうと通信」のメール配信をご利用ください。メール配信を利用されますと、情報を早くに受け取ることができます。ご利用は、協会のメールアドレスに「配信希望」とメールするだけです。勤務先への配信もできます。その場合は、確認させていただきたいことがありますので、事務局までお問合せください。

【編集後記】 久しぶりの編集、今回も多くの方々に助けていただきながらの作業となりました。通信情報部には委員が増え、気分も新たに取組んでいきますので、今後の通信に引き続きご注目ください。

（小野）